

臓器移植に関するアンケート調査

(H26看護系学校集計)

1 目 的

改正臓器移植法が施行されて5年が経過し、県民の臓器移植に関する意識やその変化を調査する一環として、新たに看護学生を対象とした実態把握を行い、今後の普及啓発の手がかりとしていくとともに、ご協力をいただいた学校の教育課程に活用していただくことを目的としています。

2 調 査

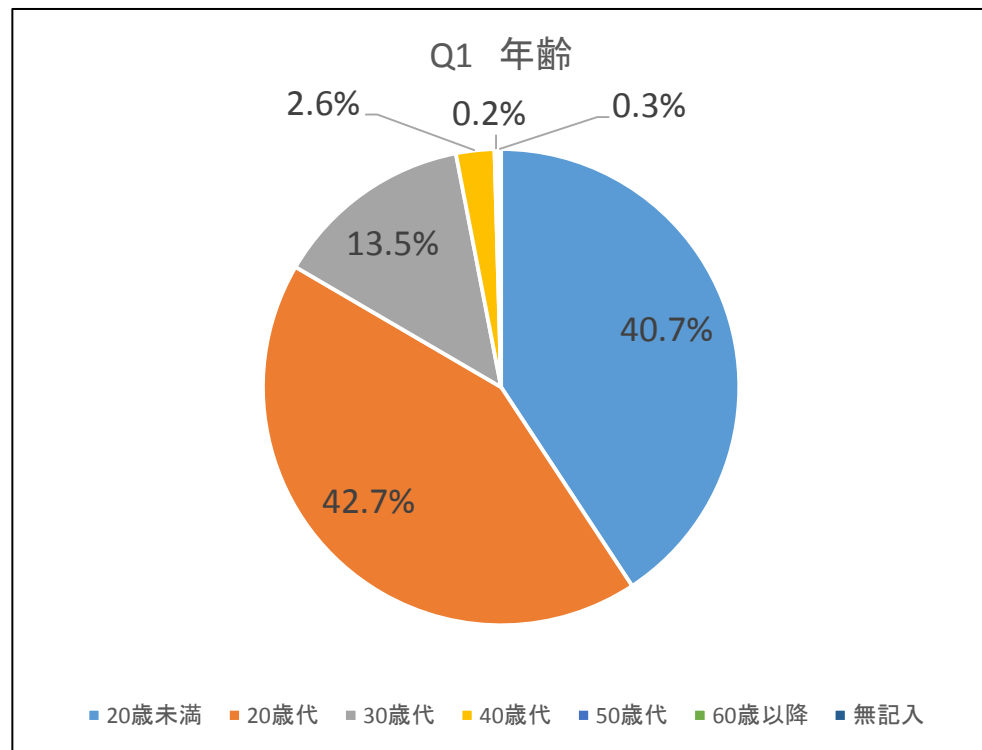
- 1)対 象 県内12校（在校生 約2,400人）
- 2)配 布 12校 1,833人
- 3)回 収 12校 1,610人（回収率 87.8%）
- 4)有効回答 1,574人（有効回答率97.8%）
- 5)無効回答 36人 集計整理上、次の場合を無効回答としました。
 - ア)問6で「意思表示していますか。 1)はい」と回答し、問9で「既に意思表示している」以外を回答した場合。
 - イ)同様に問6で「～ 2)いいえ」と回答し、問9で「既に意思表示している」と回答した場合
- 6)調査期間 平成26年8月～平成27年2月
- 7)取りまとめ 平成27年2月、全校集計と各校集計
- 8)調査集計 問ごとに円グラフで表示するとともに、参考のため全国調査（「H25年内閣府調査」または「H26年日本臓器移植ネットワーク調査」）との比較を併記しています。

3 調査結果

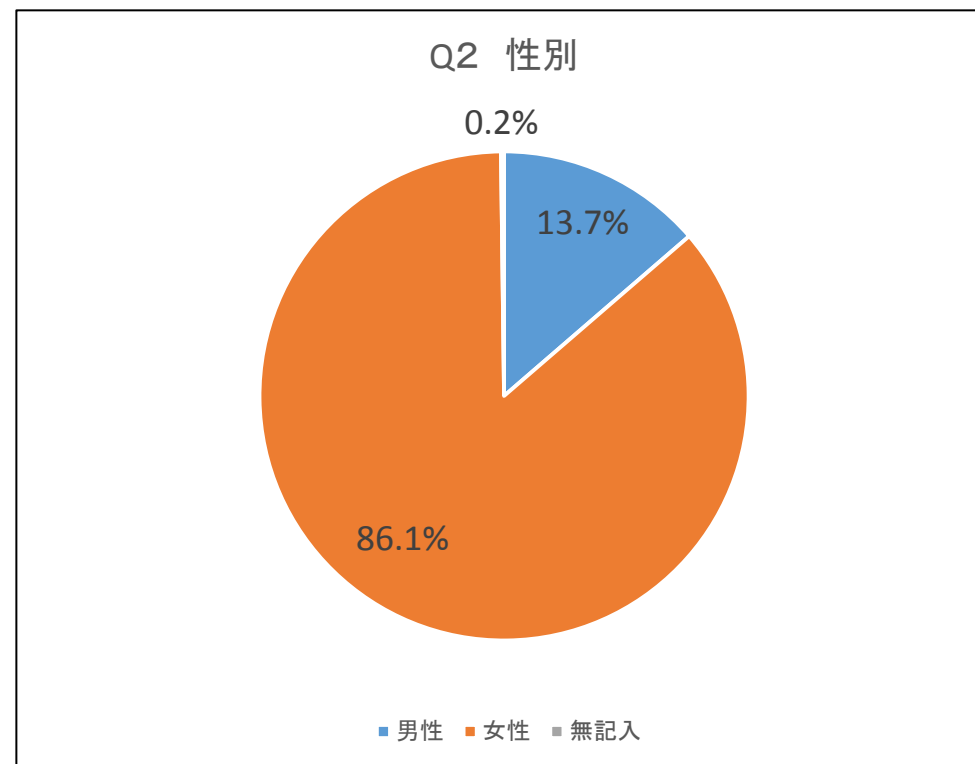
- 1)「1 年齢・性別について」では、平成25年8月に内閣府が実施した世論調査（以下内閣府調査」という）では、回答者は60～69歳と70歳以上が45.3%と半数を占め、20歳未満を対象としていないが、本調査では20歳未満と20歳代が83.4%を占めているという回答者の年齢構成に大きな違いがあります。また性別構成についても、内閣府調査では男性46.1%、女性53.9となっているのに対し、本調査では男性13.7%、女性86.1%と大きく構成が異なっています。
- 2)「2 臓器移植法について Q3 家族同意で提供可能になったことについて」の認知については、内閣府調査では66.9%であり、本調査では80.4%とかなり高くなっています。
- 3)「3 脳死について Q4 脳死を人の死と思うか」としての認識については、協会の一般アンケートでは「思う」が30.6%、本調査では26.0%とやや低くなっています。
- 4)「4 臓器提供の意思表示について Q6 意思表示をしているか」については、内閣府調査では、12.6%、本調査では20.2%と高く、また「Q7 意思表示は何にしているか」については、平成26年3月の日本臓器移植ネットワークの調査（以下「ネットワーク調査」という。）では「意思表示カードが11.1%と最も多く、本調査では「運転免許証」が12.0%と最多になっています。
さらに、「Q8 意思表示していない理由」については、内閣府調査では「自分の意思が決まらない」あるいは「後で記入しようと思っていた」が27.4%で本調査では56.8%と大幅に高くなっています。

- 5)「5 自身の臓器提供について Q10～11 提供意思について」は、内閣府調査では「脳死の場合43. 1%、心停止の場合42. 2%が意思ありで、本調査ではそれぞれ59. 4%、55. 2%とかなり高くなっています。
- 6)「6 家族の臓器提供について Q12～13 承諾(意思の尊重)」については、内閣府調査では「意思表示を残していた場合」は87. 0%、「意思表示を残していなかった場合」は38. 6%で、本調査ではそれぞれ75. 0%、24. 8%と、5の自身の場合とは一転して、かなり低い結果となっています。
- 7)「7 臓器提供について家族と話した経験について Q14 その有無について」は、ネットワーク調査では31. 5%が有りで、本調査では52. 0%と大幅に高い結果となっています。
- また、Q15のその際の家族の意見については、ネットワーク調査では44. 04%が「理解をしている」で、本調査が43. 6%とほぼ並んでいます。
- 8)「8 移植医療について Q16 情報を十分に得ているか」については、ネットワーク調査では「そう思わない」、「あまりそう思わない」が83. 5%と圧倒的に高いが、本調査でも66. 5%と非常に高くなっています。
- 9)全体としては、臓器移植に対する意識や臓器提供の意思についてはかなり高く、自身の臓器提供には積極性が見られますが、家族の提供については必ずしも積極的でなく、別の判断を留保している可能性が推測されます。

1. 年齢・性別について

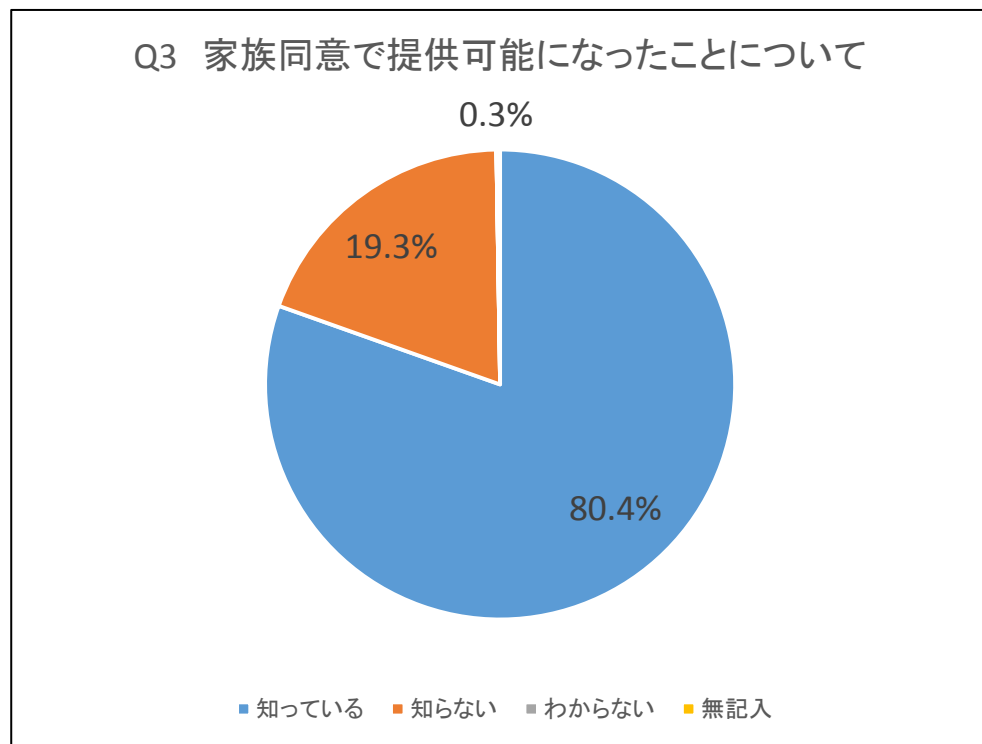


平成25年内閣府世論調査では、60～69歳(23.8%)、70歳以上(21.5%)が約半数を占め、20～29歳の者は13.3%ですが、本調査では、20歳未満(40.7%)、20歳代(42.7%)で、30歳未満の者が83.4%を占めており、年齢構成が大きく異なります。



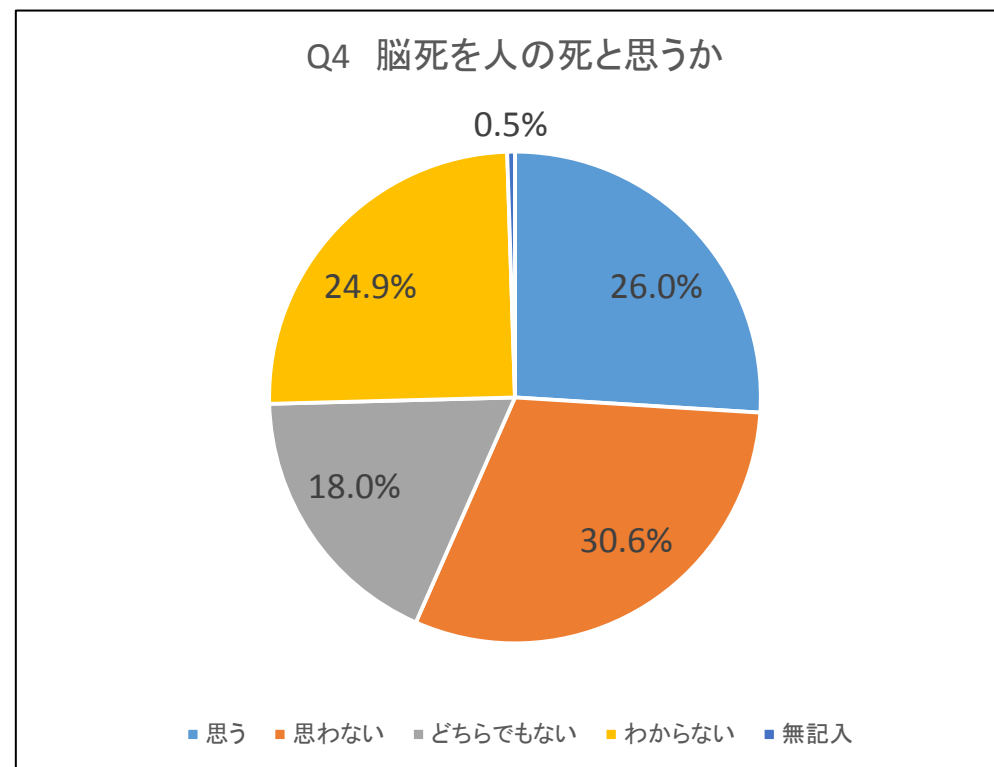
平成25年内閣府世論調査では、男性(46.1%)、女性(53.9%)ですが、本調査では男性(13.7%)、女性(86.1%)と性別構成が大きく異なります。

2. 臓器移植法について



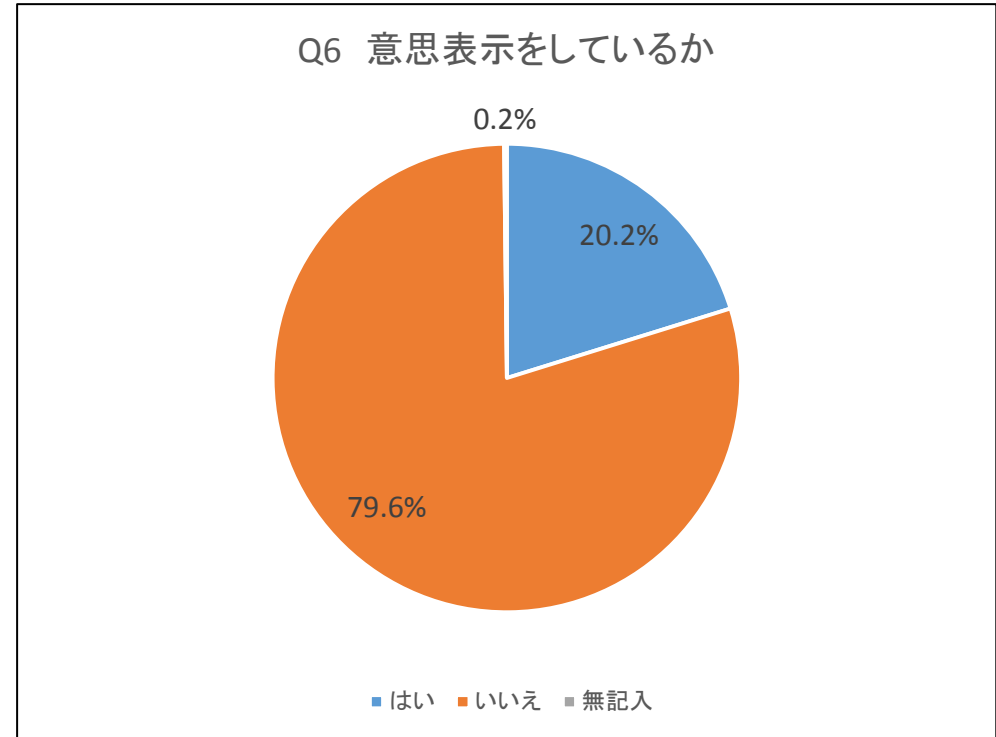
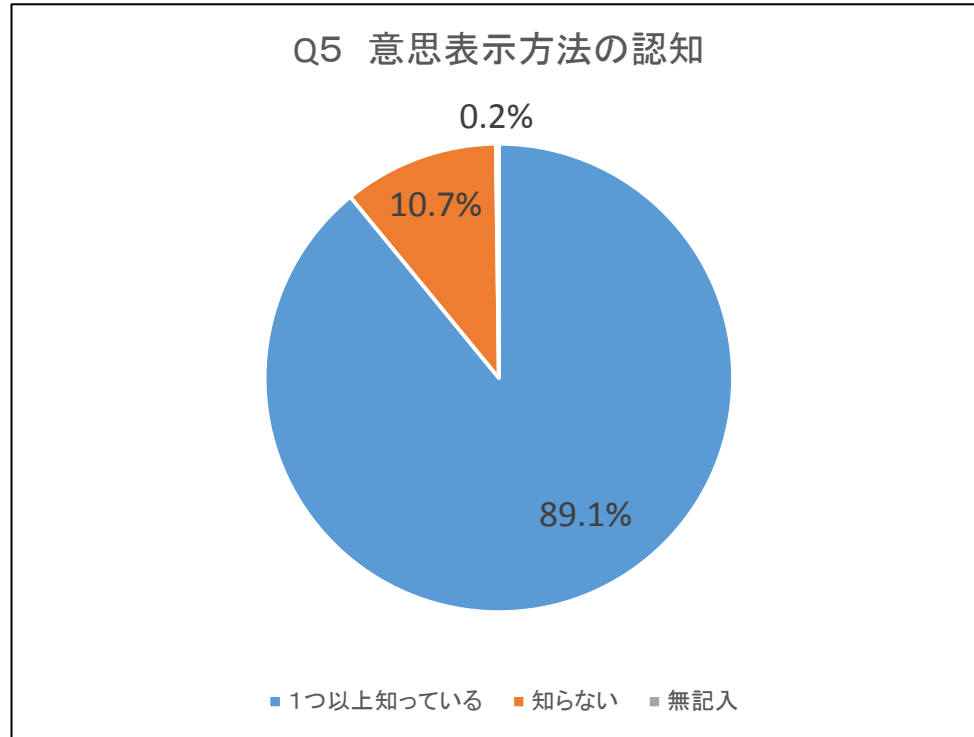
平成25年内閣府世論調査では、本人の意思が不明な場合でも「家族の承諾により臓器提供が可能となったことを知っているか」との問いに、「知っている」と回答した方は66.99%ですが、本調査では80.4%の方が「知っている」と回答しています。

3. 脳死について



平成26年度高知県腎バンク協会一般アンケート調査結果では、脳死を人の死と「思う」と回答した方は30.6%、「思わない」と回答した方は14.3%、「どちらでもない」と回答した方は24.5%でした。本調査では、脳死を人の死と「思う」は26.0%、「思わない」は30.6%、「どちらでもない」は18.0%と、「思わない」が大きく異なっています。

4. 臓器提供の意思表示について

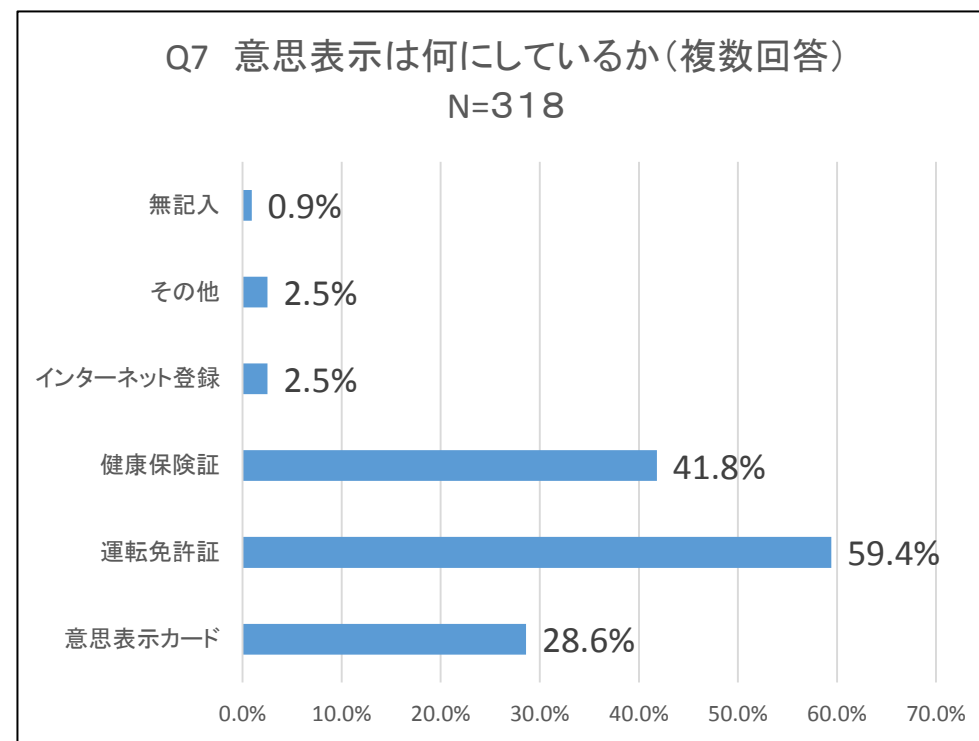
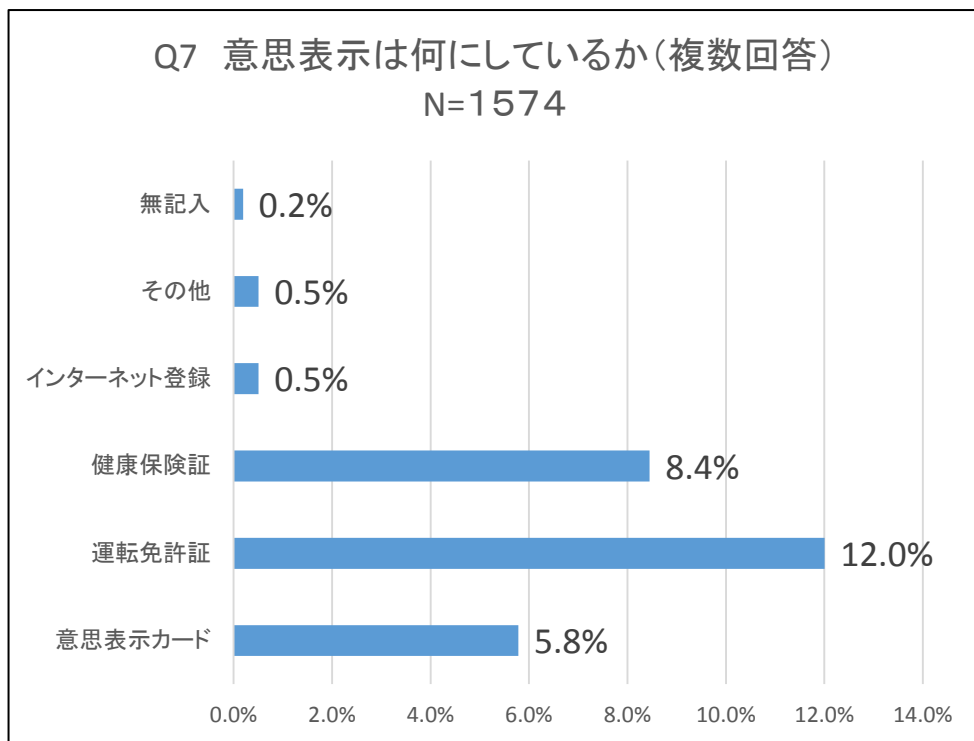


平成25年内閣府世論調査では、臓器を提供についての意思を「医療保険の被保険者証」「運転免許証」「臓器提供意思表示カード」「臓器提供意思登録システム」を用いた方法、いずれかの方法で記入しているか聞いたところ、「記入している」と答えた方の割合が12.6%、「記入していない」と答えた方の割合が85.1%でした。

本調査では、臓器提供に関して、「健康保険証」「運転免許証」「臓器提供意思表示カード」「インターネット登録」「その他」を用いた方法で、臓器提供の意思表示ができる事を知っていますかとの問いに、「1つ以上知っている」と回答した方は89.1%、「知らない」と回答した方は10.7%でした。

臓器提供について意思表示を行っていますかとの問いには、「はい」と回答した方は20.2%で、「いいえ」と答えた方は79.6%でした。

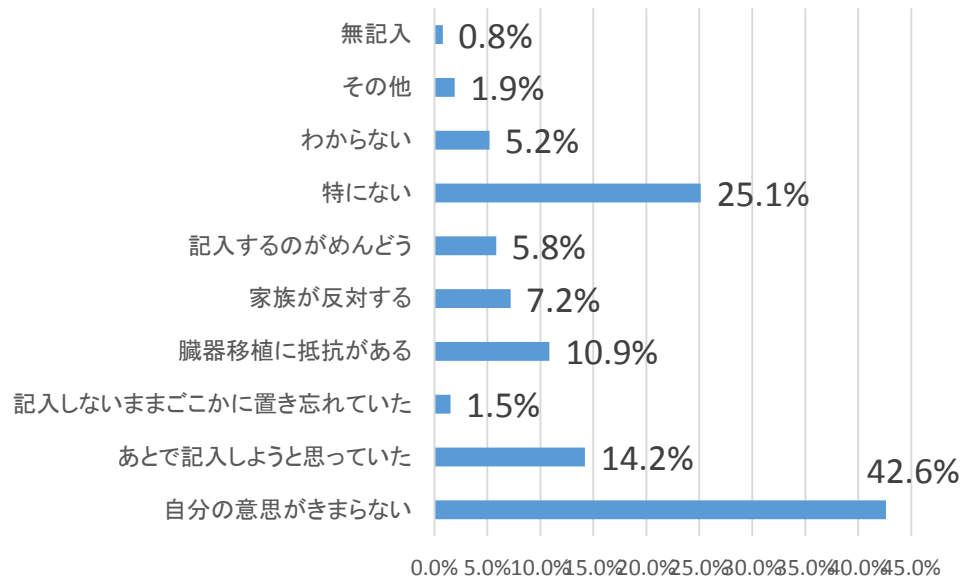
4. 臓器提供の意思表示について



平成26年3月に日本臓器移植ネットワークが行った、臓器提供意思表示に関する意識調査では、調査対象者のうち「運転免許証」に記載していると回答した方が9.1%、「健康保険証」が9.3%、「意思表示カード」が11.1%、「インターネット登録」が2.2%でした。
本調査では、意思表示している方318人のうち「運転免許証」に記載していると回答した方は59.4%、「健康保険証」41.8%、「意思表示カード」28.6%、「インターネット登録」2.5%となっていますが、有効回答者全体1,574人に占める割合でみると、それぞれ12.0%、8.4%、5.8%、0.5%となります。

4. 臓器提供の意思表示について

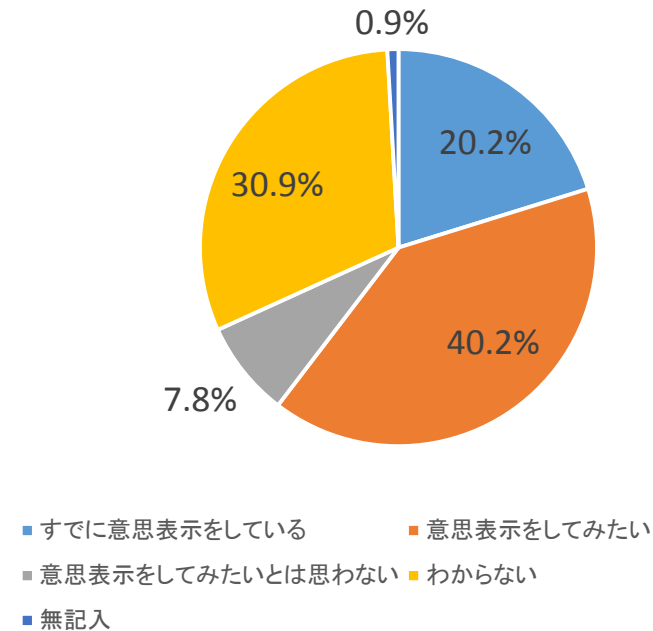
Q8 意思表示をしていない理由(複数回答) N=1
253



平成25年内閣府世論調査では、臓器の提供に関して意思を「記入していない」と答えた方に記入しない理由を聞いたところ、「自分の意思が決まらないから」あるいは「後で記入しようと思っていたから」を挙げた方の割合が27.4%と最も高く、以下「臓器提供や臓器移植に抵抗感があるから」17.6%、「臓器提供には関心がないから」15.7%などの順でした。

本調査では、「自分の意思が決まらないから」と回答した方が42.6%、「特になし」25.1%、「あとで記入しようと思っていた」14.2%となっています。

Q9 意思表示に関してどのように考えているか

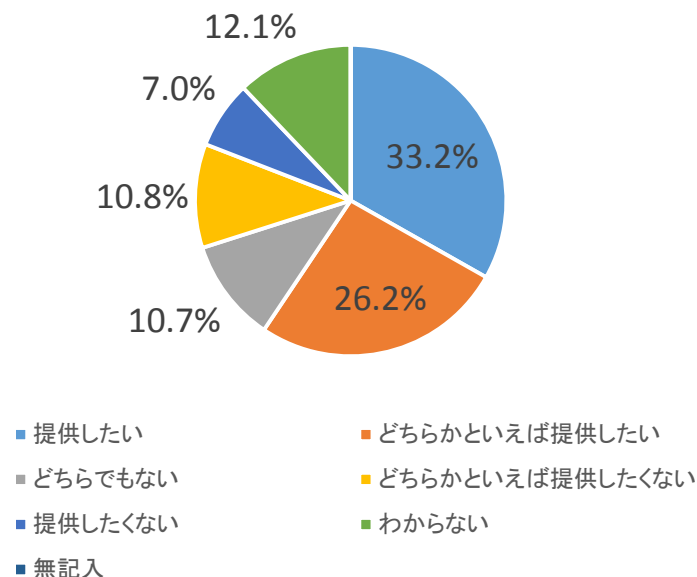


平成26年3月に日本臓器移植ネットワークが行った臓器提供意思表示に関する意識調査では、「臓器提供意思表示についてお知らせください」の質問に対して、「既に意思表示をしている」13.4%、「意思表示をしてみたい」26.8%、「意思表示をしたいとは思わない」23.9%、「わからない」36.1%でした。

本調査では、「既に意思表示をしている」20.2%、「意思表示をしてみたい」40.2%、「意思表示をしたいとは思わない」7.8%、「わからない」30.9%でした。

5. 自身の臓器提供について

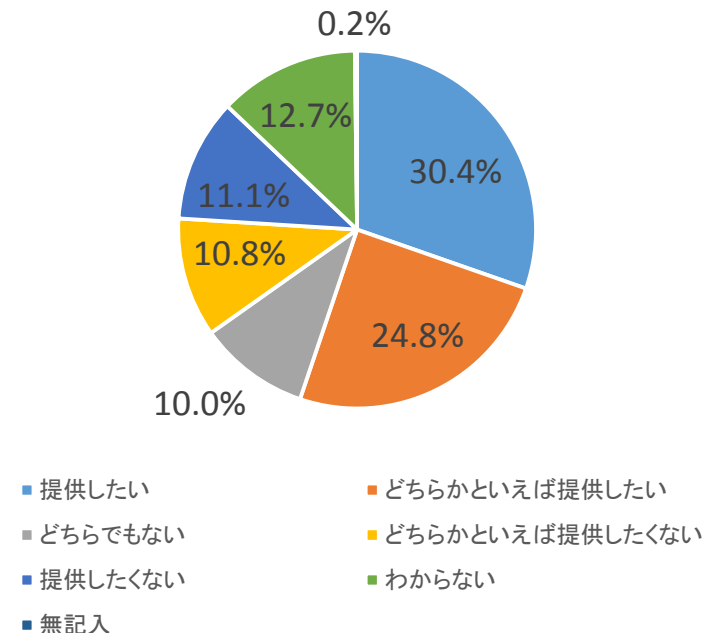
Q10 脳死と判定された場合、自身の提供について



平成25年内閣府世論調査では、仮に、自分が脳死と判定された場合、心臓や肝臓などの臓器提供をしたいと思うか聞いたところ「提供したい」とする方の割合が43.1%（「提供したい」22.7%＋「どちらかといえば提供したい」20.4%）、「どちらともいえない」が30.6%、「提供したくない」が23.8%（「どちらかといえば提供したくない」8.2%＋「提供したくない」15.5%）となっています。

本調査では、「提供したい」とする者の割合が59.4%（「提供したい」33.2%＋「どちらかといえば提供したい」26.2%）、「どちらでもない」が10.7%、「提供したくない」が17.8%（「どちらかといえば提供したくない」10.8%＋「提供したくない」7.0%）となっています。

Q11 心臓が停止した後、自身の提供について

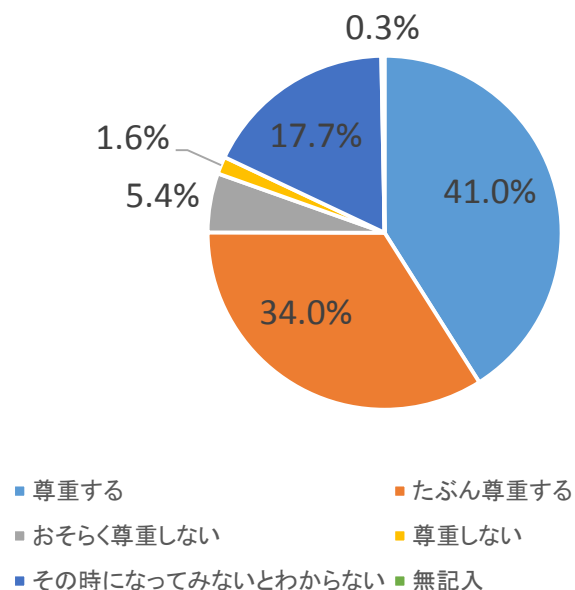


平成25年内閣府世論調査では、仮に、自分の心臓が停止し、死亡と判断された際に、腎臓や眼球などの臓器提供をしたいと思うか聞いたところ、「提供したい」とする方の割合が42.2%（「提供したい」22.0%＋「どちらかといえば提供したい」20.2%）、「どちらともいえない」が28.6%、「提供したくない」が26.0%（「どちらかといえば提供したくない」8.2%＋「提供したくない」17.8%）となっています。

本調査では、仮に、自分の心臓が停止し、死亡と判断された際に、腎臓や眼球などの臓器提供をしたいと思うか聞いたところ、「提供したい」とする者の割合が55.2%（「提供したい」30.4%＋「どちらかといえば提供したい」24.8%）、「どちらでもない」が10.0%、「提供したくない」とする者の割合が21.9%（「どちらかといえば提供したくない」10.8%＋「提供したくない」11.1%）となっています。

6. 家族の臓器提供について

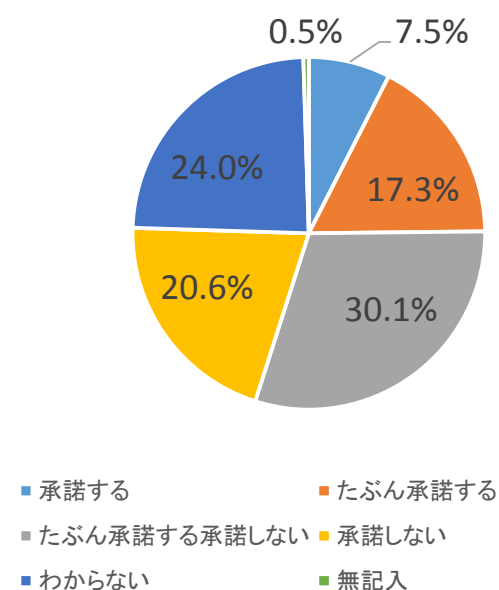
Q12 家族が提供の意思を残していた場合、意思を尊重するか



平成25年内閣府世論調査では、仮に、家族の誰かが脳死と判定され、本人が脳死での臓器提供の意思を書面によって表示をしていた場合、その意思を尊重するか聞いたところ、「尊重する」とする者の割合が87.0%（「尊重する」60.1%＋「たぶん尊重する」26.9%）、「尊重しない」が7.7%（「たぶん尊重しない」3.2%＋「尊重しない」4.5%）となっています。

本調査では、仮に家族の誰かが脳死と判定されたり、心臓が停止し死亡と診断されたときに、本人が臓器提供の意思を書面によって表示をしていた場合、その意思を尊重するか聞いたところ、「尊重する」とする者の割合が75.0%（「尊重する」41.0%＋「たぶん尊重する」34.0%）「尊重しない」とする者の割合が7.0%（「たぶん尊重しない」5.4%＋「尊重しない」1.6%）となっています。

Q13 家族が提供の意思を残していなかった場合、提供の承諾をするか

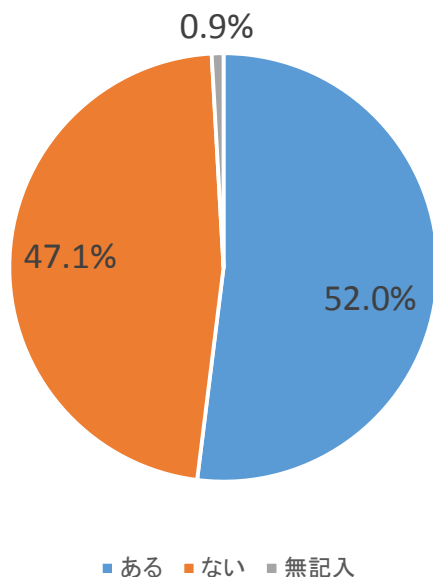


平成25年内閣府世論調査では、仮に、家族の誰かが脳死と判定され、本人が脳死での臓器提供について何も意思表示をしていなかった場合、臓器提供を承諾するか聞いたところ、「承諾する」とする者の割合が38.6%（「承諾する」12.4%＋「たぶん承諾する」26.2%）、「承諾しない」が49.5%（「たぶん承諾しない」26.1%＋「承諾しない」23.4%）、「わからない」が11.9%となっています。

本調査では、仮に家族の誰かが脳死と判定されたり、心臓が停止し死亡と診断された時に臓器提供について何も意思を表示していなかった場合、臓器提供を承諾するか聞いたところ、「承諾する」とする方の割合が24.8%（「承諾する」7.5%＋「たぶん承諾する」17.3%）、「承諾しない」50.7%（「たぶん承諾しない」30.1%＋「承諾しない」20.6%）、「わからない」が24.0%となっています。

7. 臓器提供について家族と話した経験について

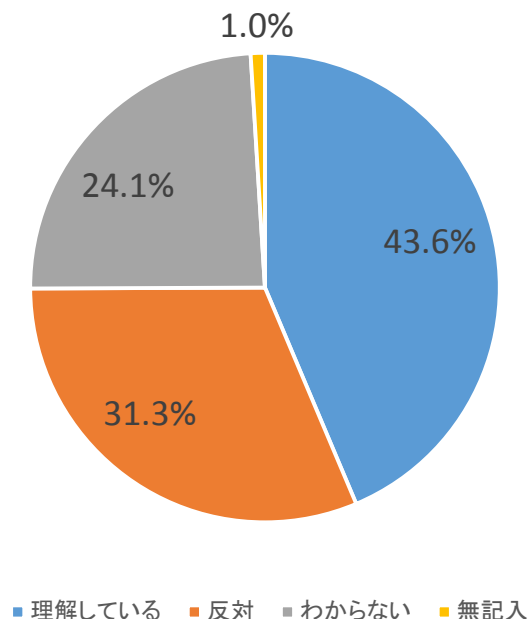
Q14 臓器の提供について家族と話したことがあるか



平成26年3月に日本臓器移植ネットワークが行った、臓器提供意思表示に関する意識調査では、「臓器提供について、家族と話しをしたことがありますか」との質問に対して、「ある」と回答した方が31.55%、「ない」が68.5%でした。

本調査では、「ある」と回答した方が52.0%、「ない」が47.1%でした。

Q15 臓器提供について、家族の意見 N=357

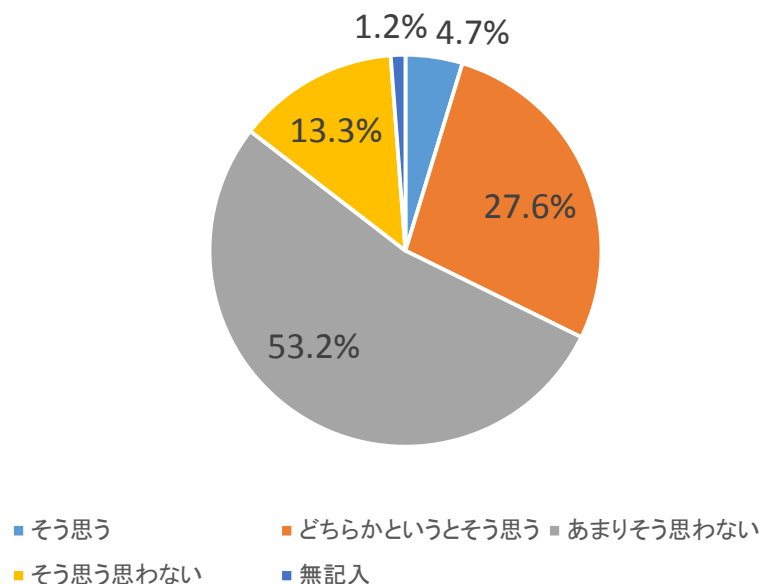


平成26年3月に日本臓器移植ネットワークが行った、臓器提供意思表示に関する意識調査では、臓器提供に家族と話しをしたことがあると回答した方のうち、「臓器提供について家族で話しをした際に、家族はどのような意見でしたか」との質問に対して、「理解している」44.4%、「反対」21.9%、「わからない」33.7%という回答結果でした。

本調査では、「理解している」43.6%、「反対」31.3%、「わからない」24.1%でした。

8. 移植医療について

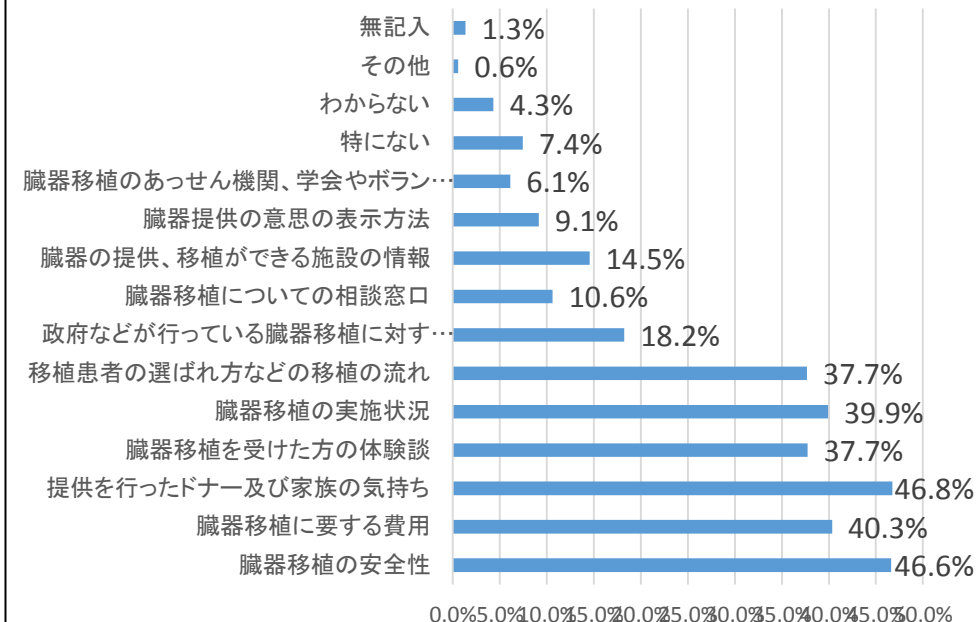
Q16 移植医療に関する情報を十分得ていると思いますか



平成26年3月に日本臓器移植ネットワークが行った、臓器提供意思表示に関する意識調査では、「臓器移植医療に関する情報を十分得ていると思いますか」の質問に対して、「そう思う」3.3%、「どちらかというと思う」13.2%、「あまりそう思わない」53.8%、「そう思わない」29.7%という回答結果でした。

本調査では、「そう思う」4.7%、「どちらかというと思う」27.6%、「あまりそう思わない」53.2%、「そう思わない」13.3%でした。

Q17 移植医療に関して欲しい情報



平成25年内閣府世論調査では、臓器移植に関してどのような情報がほしいか聞いたところ、「臓器移植の安全性など移植医療の情報」を挙げた者の割合が36.4%と最も高く、以下「臓器移植に要する費用などの情報」32.6%、「臓器提供を行ったドナー及びその家族の気持ちなどの情報」31.3%、「臓器移植を受けた方の体験などについての情報」30.0%、「臓器移植の実施状況」28.2%などの順となっています。本調査では、「提供を行ったドナー及び家族の気持ち」が46.8%と最も高く、以下「臓器移植の安全性など移植医療の情報」46.6%、「臓器移植に要する費用などの情報」40.3%、「臓器移植の実施状況」39.9%、「臓器移植を受けた方の体験などの情報」、「移植患者の選ばれる方などの臓器移植の流れ」37.7%の順となっています。

自由記載欄

◆意思表示している物・人

- ・家族に伝えている 3人
- ・人に言っている
- ・遺書

◆意思表示していない理由

- ・家族と話あえていないから 2人
- ・記入する物をもっていない
- ・まだ若いと思うから
- ・自分の臓器で他人が生きていくのが嫌だから
- ・どこでしたらいいかわからない
- ・まだ未成年だから
- ・迷っている
- ・登録方法を知らない
- ・両親の養護から離れたときに記入する
- ・自立したらしよと思う
- ・輸血歴があるから
- ・残る家族の気持ちが心配

◆移植医療について欲しい情報

- ・ラザロ兆候について
- ・脳死者にも麻酔をして臓器を摘出する理由
- ・目を提供したら、その後の遺体は義眼になるのか
- ・提供を行う側・移植を受ける側はどのようなことをするのか
- ・提供する家族について
- ・生体移植などのドナーの危険性
- ・臓器移植後の患者の状態

◆その他

- ・脳死は人の死でない事を伝えるべき
- ・手術中に脳死と判定されていた人が動いたと言う情報を聞いた。
- ・脳死と判定された時に意識があり、回復した後もそのことを記憶していたという人がいたが、その人たちの話の内容を聞きたい。
- ・もっと国をあげて取り組むべきだと思う